

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数 21名
学校だより 11月号
令和4年11月16日発行

掃除の力「か・き・く・け・こ」

校長 下村 尚

ある講演会で聴いた内容の中で、印象に残った部分を書かせてもらいます。本校の状況、児童生徒の実態、地域や家庭での状況、もちろん自分自身にも当てはめて考えてみたいと思います。

「子供のころ、よく母親がトイレ掃除をしながら言っていたことを思い出した。『トイレ掃除をきちんとできる人は、トイレの神様が褒美をくださるのだよ』と・・・。」今から10年ぐらい前に、「トイレの神様」という歌も流行りました。

トイレに限らず、掃除がきちんとできるかどうか、物の整理整頓、心の整理、身辺整理、車の掃除などなど・・・。

～掃除をすると 素直になれる～

「か」・・・感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。
小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれる。



「き」・・・気づく人になれる

世の中で成果を上げている人とそうでない人との差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。
その気づきを引き出してくれるのがトイレ掃除。



「く」・・・工夫する人になれる

仕事には工夫が必要である。工夫は新たなアイデアを生む。



「け」・・・謙虚な人になれる

どんな才能があっても、放漫な人は人を幸せにすることはできない。
人間の第一条件は、謙虚であること。



「こ」・・・行動する人になれる

頭で考えても実行できなければ意味がない。その第一歩を踏み出す勇気を与えてくれる。

以前の勤務校で、素手でトイレの便器掃除をした経験があります。「鹿児島掃除に学ぶ会」を招いての職員研修でのことで、夏休みの半日を費やし、児童が使うトイレの壁や便器をブラシやウォーターペーパーを使って磨き上げました。暑い中、一心不乱に掃除に打ち込むことで、同時に自分自身の心も磨き上げることができた貴重な経験でした。また、別の勤務校では、ある年配の先生が人知れず職員トイレの便器を素手で磨いて掃除をしている場面にも遭遇したことがありました。

「鹿児島掃除に学ぶ会」は、国分にある鎌田建設株式会社の創業者、鎌田善政氏の取り組みであります。そのきっかけとなっているのが、イエローハット創業者、鍵山秀三郎氏との出会いと聞いている。鍵山氏は60年以上にわたり、「掃除を通して心の荒み（すさみ）をなくし、世の中をよくすることが私たちの心願である」と唱え、清掃活動を実践しています。

十島村での毎月のリサイクル活動もその一つで、神様から頂いた美しく素晴らしいこの宝島の環境を、いつまでも保ち続けるために一人の一步から、多くの人的一步へと繋がり、みんなで行き届くことの大切さを改めて思うことです。

「宝の夢」文化祭が開催されました

11月6日、「宝の夢」文化祭が実施されました。日々の学習の成果やこれまでの成長の発表の場として充実した1日でした。舞台では各学級の劇や音楽の発表、中学生は先日実施された修学旅行で学び、感じたことなども含めた体験記を発表しました。また、いまきら園の子供たちの演奏やカラーガードも頑張っていました。島民の方々も、スティールパンやトカラ観音三線会など、素敵な音楽でみんなを元気にしてくださいました。展示発表でもさまざまなジャンルの作品が集まり、とても充実した内容でした。懐かしい宝島の風景に触れたり、新しいアートに接したりと「宝の夢」に相応しい文化祭となりました。出演、出品、参観くださった皆様ありがとうございました。

また、現在前籠港の壁画を描いてくださっているロコ・サトシさんも来場され、壁画への想いやワークショップについて語っていただき、宝島の未来についても、想いを馳せることができました。



黒糖ピーナッツ できあがりしました

4月の落花生の種まきから除草作業や追肥，黒糖をまぶしての調理，袋詰めまで児童生徒が頑張り黒糖ピーナッツが完成しました。収穫祭等で配布いたします。是非，御賞味ください。

＜12月の主な予定＞

- | | |
|------------------------|------------------|
| ○ 4日（日）島内一周駅伝大会 | ○ 10日（土）火災避難訓練 |
| ○ 6日（火）スクールカウンセラー来校 | ○ 16日（金）小学校入学説明会 |
| ○ 9日（金）授業参観・PTA・心の教育の日 | ○ 23日（金）終業式 大掃除 |

☆人権について考えてみませんか？☆

1948年12月10日に国連で「世界人権宣言」が採択されたことから、12月10日は「人権デー」、その1週間前からを「人権週間」と定められています。学校では12月の授業参観の日を「心の教育の日」として全学級で道徳の授業を行い、児童生徒と共に人権について考えることにしています。世界中ではいろいろな人権問題が依然起こり続けています。みなさんもこの人権週間を機会に人権について考えてみませんか。